

# 藤 薫

## 第 5 号



健康増進・生きがい  
休耕地を活用して

### 収穫の喜び体験

「健康と生きがいづくりのシルバー農業事業」は、平成二十五年から取り組んでいる新規事業です。シルバー会員が農家の遊休地をお借りして、野菜などの種まきから収穫まで一連の農作業を体験し、作物を栽培する仕事と生産する喜びを味わいながら、健康と生きがいになる仕事をしています。

本年度は、もち米・大豆・さつま芋・ブロッコリーを栽培してきましたが、もち米は高洲南幼稚園の園児と餅つき大会・大豆は味噌づくり・さつま芋は切干にしてすでに完売です。ブロッコリー(写真)は二月下旬に収穫し、学校給食用の野菜として、子どもたちに食べてもらうことを予定しています。

お借りした田んぼは、高洲・高岡・平島の遊休地ですが、この事業は、来年度も引き続き実施する計画です。【参加希望の方は、事務局にご連絡ください。】



SC互助会・日帰りバス旅行  
西伊豆「青の洞窟」と  
ホテル銀水で懇親・入浴

好天に恵まれた本年度のバス旅行は、十一月十六日にバス四台・会員百三十二名が参加して、西伊豆を訪れ、堂ヶ島では遊覧船に乗って洞窟や奇岩めぐり。そして、ホテル銀水荘では、和やかな懇親会。仲間の皆さんとの親睦交流・カラオケなど、ひと時を有意義に楽しく過ごした日帰りの旅行でした。

来年度もこのような旅行計画をしていただいで、会員が大勢参加し、親睦を深める楽しいバス旅行をやりましょう。

# 理事会と各委員会

シルバー人材センターの運営については、理事の方々が、会員の就業のため、いろいろな活動を行っていきます。今回は、理事会及び各委員会の紹介をいたします。

## 理事会

理事長 大井 市郎

平成二十四年度から公益社団法人に移行して事業計画や予算案などの議決が理事会にゆだねられるなど、理事会の権限が拡大され、責任の重さを感じております。

このような中、理事会もより実践的な活動が課せられ、今年一月に会員の就業機会拡大のため、理事・監事が二人一組で、事業所訪問を行いました。これからも、会員の皆様のより一層のご協力をいただく中で、役員一丸となってシルバー人材センターの充実発展に頑張つてまいります。

## 安全・適性就業委員会

委員長 原川 弘

当委員会は、就業上の事故分析と、事故防止対策の樹立及び会員の健康と安全適性就業に関する取り組みを実施しています。年々増加している傷害、物損事故については、安全パトロールの強化、特にヘルメット・安全帯の確実な着用、交通ルール等安全ルールに関する意識のレベルアップ（安全会議への参加・安全就業チェック表の提出）を目指しています。

また、毎年新規会員二名の刈り払い機安全講習会への参加を実施し、操作技術や安全操作を習得してもらっています。今後は、外部講師による安全講習会も計画したいと思っています。安全委員会は、機会あるごとに、安全就業を呼び掛けますが、会員の一人一人の心がけが何よりも大切です。「安全はすべてに優先する」と言われています。皆様と共に無事故を目指してゆきましよう。

## 事業推進委員会

委員長 小柳津 茂弘

会員の皆様により多くの就業機会を提供したいと活動を行なっております。

先ず年頭に役員全員で就業開拓活動を含む企業訪問を行い（本年は百四十六社を訪問）、問題点等情報を収集し、反省と今後の課題について検討を行っております。次に、未就業者対策として、「会員面談会」を開催しています。

また、第三水曜日には「会員相談日」を設けておりますが残念ながら利用者が少ないのが現状です。会員の皆様に大いに利用してもらいたいと思っております。

今後の問題としては、消費税増税があり、それに伴って配分金や事務費の見直しの検討も始めております。加えて中長期計画の進行管理については必要に応じて進行状況を点検し、時代の変化等を勘案して計画に沿うように検討しています。

## 普及啓発委員会

委員長 岸本 孝夫

当委員会は、シルバー人材センターの事業について、市民の皆様様に理解と協力を深めていただくことを目的とし、年二回の「シルバーふじえだ」を発行しています。

また、会員のためには「藤薫」を発行し、啓蒙活動を行っております。

これらの発行については、事前の編集計画に乗っ取って、原稿集め、編集、校正と皆さんのお手元に届くまでには数回の会議を開催しております。

本年は、シルバーが発足して三十周年を迎える年となり、次回の「シルバーふじえだ」は、記念誌としてページを増やしての発行を計画しております。

シルバー事業の宣伝については広報だけでなく会員の皆様にもそれぞれの地域でクチコミでPRしていただければ有難いと思います。



# 企業訪問

## 赤堀技研のあゆみ

代表取締役社長 赤堀義尚

日頃のご支援とご協力を頂き、藤枝市シルバー人材センターには、感謝いたしております。この機会に弊社の概要を説明いたします。

私の父親である赤堀義太郎が、昭和十八年二月に、赤堀金具製作所を創業いたしました。

仕事の内容は、軍需製品の部品や鏡台・タンスの金具の製造をしていました。



赤堀技研作業場での会員作業風景

昭和二十年の終戦後は、仕事も減少してしまいました。戦後の復興と共に仕事も増加し現在の会社の基盤を作り上げました。その後日本経済は目覚しく発展しました。

昭和三十一年十月一日から長兄が父親の後を継ぎ、(株)赤堀螺子製作所に組織変更しました。当時は自動車産業が大変な勢いで、仕事も大幅に増加した時代でした。

昭和四十七年には袋井精密工業団地に進出しました。そして昭和五十四年に(株)赤堀技研と社名変更し、現在に至っています。

### わが社の主力製品

わが社の製品を大きく分けると四つに分類されます。

- 輸送機器部品
- (自動車、船、オートバイ)
- 空調機器部品
- (電磁弁、エアコン)
- 特殊機器
- (印刷機器、水洗機器)
- 金型部品
- (プレス金型部品)

### 私たちの職場 会員の活躍

#### 社員構成

社員数は正社員が九十八名、パート・アルバイト十名、シルバー人材センター・人材派遣四十名の百四十八名の方々が働いています。シルバー人材センターに登録されている方々は、戦後の厳しい時代を家族や企業のために、尽力された方々です。わが社では、考え方、行動が前向きな方を歓迎いたしますので、今後とも、よろしくお願ひ致します。

### 企業訪問の感想

#### 企業訪問理事

平成二十六年を迎え、本年も役員が手分けして市内の就業契約企業を、訪問いたしました。

この訪問は、日頃、会員がお世話になっております事業所や会社の皆さんに、そのお礼と就業状況などを拝聴するとともに、これからのセンター運営や活動に反映させるべくご意見などを

お聴きしました。

訪問先の担当者のご意見ご要望は、シルバー会員の就業に期待を込めており、「こまめに連絡を交わし合って、企業に役立つてほしい」とのことでした。

企業を取り巻く環境は、若年者層の定職の問題や、交代作業を始め、休日作業・季節に合わせた勤務など、経営環境は依然として厳しいものがありますので、経費節減や合理化を進めると共に技能技術の研鑽が不可欠です。

今後もシルバーとの関係を深め、企業の戦略に会員の力を生かして頂きたいと強く感じさせる企業訪問でした。

#### パソコンで

#### 会員同士の情報交換

昨今の企業の事務作業はパソコンなしでは就労することは考えられません。

これからは、会員の皆さんも、パソコンの操作について詳しくなる様に、学習して就業拡大に努めることが大切と強く感じました。



## 事務局便り

### 礼儀とマナー

シルバー人材センター事業の基本理念は、自主・自立であります。会員一人ひとりが直接お客様と接します。従って会員はおお客様に対して失礼が無いように、言葉や行動に注意する必要があります。

最近シルバー人材センターでは、仕事上のトラブルが多発しておりますので、過去の実例を基に礼儀とマナーを作成しました。皆様のご注意を期待します。

#### 1. 訪問する前のマナー

- ① 訪問する日時・用件・人数などを事前連絡をして了解を取る。
- ② 言葉は丁寧話す。

例



私は、シルバー人材センターの〇〇と申します。

何月何日に△△の用件で伺いたく、電話致しました。××時頃にお伺いします。がよろしいでしょうか……では、宜しくお願ひします。

#### 2. 訪問する時のマナー

- ① チャイムを鳴らす前に身だしなみを整える。
- ② 「どうぞ」と案内されるまでは勝手に入らない。



#### 3. 就業時の注意

- ① 了解なしに他人の敷地へ無断で入らない。
- ② 了解なしに、発注者宅の隣接地に脚立・梯子などを設置して仕事をしない。
- ③ 挨拶を交わしてから仕事を始める。

#### 4. 作業が終了した時

- ① 作業の邪魔になり移動した物は元の場所に戻して置く。
- ② 掃除は丁寧に行う。
- ③ 作業が終了した事を発注者に伝える（感謝の気持ちが相手に伝わるように……）



## 食事バランスガイド

藤枝市の健康寿命は男女平均で七十三・五歳と日本一に輝いています。健康は宝です！、バランスのとれた食事で更に健康寿命を延ばそう！

### 健康が一番



- ① 欠食をしない（欠食すると必要なエネルギーや蛋白質が不足します。一日四〜五回に分けても食べましょう。）
- ② 食事の時間を規則正しく（体と心の一日のリズムづくりが大切です。胃腸の働きも整えます）
- ③ 家族や仲間とワイワイと（おしゃべりをしながらの食事は楽しみを五倍にも十倍にもしてくれます。一日一回は家族や友人と食事をとりましょう）
- ④ 主食を忘れずに（ごはん・パン・麺類などの食は活動的に過ごすためのエネルギー源）
- ⑤ 主菜をしっかり（肉・魚・卵・大豆製品・野菜など組み合わせ、しっかりと取りましょう）

### 定時総会及び

三十周年記念式典

平成二十六年六月二十八日(土)

奮ってご参加下さい。